

予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商工費

事業名 サテライトオフィスお試し体験推進事業費補助金 (R4分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 企業誘致課 立地支援係 電話番号：058-272-1111(内3085)

E-mail：c11342@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,100 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正要求額	7,100	0	0	0	0	0	0	0	7,100
決定額	3,200	3,200	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴うテレワークの普及により、サテライトオフィスの設置を検討する法人が増えている。

よって、サテライトオフィスの開設を促進するため、まずは短期間（お試し）県内で働いてもらい、地域の良さや魅力を体験してもらえよう、サテライトオフィスの体験に係る経費を支援する。

(2) 事業内容

県外法人が、県内のサテライトオフィス等の施設にお試しで入居する場合に、必要な経費の一部を助成する。

○補助対象者

次のいずれかのタイプに該当する県外法人（個人事業主は不可）

- ・都市圏型：本社が政令指定都市や中核市などの都市部に所在する法人
- ・地域振興型：「地域振興に資する事業」又は「地域資源を活用する事業」を行う法人

○補助要件

- ・県内のサテライトオフィス又はシェアオフィス等の施設の利用
- ・利用者は2名以上。利用日数は3日間以上
- ・サテライトオフィスの開設を検討している法人であること
- ・県が行うアンケート調査に協力すること

○補助対象経費

オフィス賃貸料・利用料、交通費（レンタカー費含む）、宿泊費

○補助率 2/3以内

○補助金額	短期利用（3日以上）	200千円
	中期利用（15日以上）	300千円
	長期利用（30日以上）	400千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・企業への立地支援は、県の経済・雇用対策として従来から県負担である。

(4) 類似事業の有無

有【類似事業】 ・サテライトオフィス誘致推進事業費補助金

県内のサテライトオフィスに新たに入居する県外法人に対して、開設経費を助成。（定額1,000千円）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,100	サテライトオフィス誘致推進事業費補助金 R3要求件数 13件 × 2倍 = 26件 短期13件×200千円 = 2,600千円 中期 7件×300千円 = 2,100千円 長期 6件×400千円 = 2,400千円
その他		
合計	7,100	

決定額の考え方

R3年度の実績を参考に、所要額を計上します

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- デジタル化プロジェクト
- ・産業プロジェクト（企業誘致プロジェクト）

(2) 国・他県の状況

特別交付税（お試しサテライトオフィス推進要綱） 交付率 1/2

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	サテライトオフィスお試し体験推進事業費補助金 (R4分)
補助事業者 (団体)	県外の法人 (理由) 新型コロナウイルスの影響を機に、テレワークが普及しているため
補助事業の概要	(目的) サテライトオフィスの誘致促進 (内容) サテライトオフィス入居企業への支援
補助率・補助単価等	補助率2/3 (内容) 他県の状況を踏まえ設定 (理由) 他県の状況を踏まえた限度額を採用
補助効果	サテライトオフィスを通じた企業誘致の推進
終期の設定	終期令和6年度 (理由) 国の交付金の事業計画の終期にあわせる

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 新しい働き方として進みつつあるテレワーク等を推進できるよう、サテライトオフィスの入居を促進し、県外からの企業誘致につなげる。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標 (R6)	
					達成率	
①地方創生テレワーク交付金事業計画	-	-	13	13	50	

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	サテライトオフィス誘致のために必要な施設の整備に対して支援を行い、受入れ体制を整えることができた。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	テレワークの普及により、サテライトオフィスへのニーズが高まっていることから、県としても積極的に取り組むべき事業である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	マッチングイベントなど商談会の場でインセンティブとして活用できるため、引き続き行っていくべきである。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	企業に向けて、支援制度の周知を図るため、サテライトオフィスを推進している市町村とも連携を図るとともに、県外企業への広報活動を行う。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設整備を支援した施設に入居が進むよう、補助制度を存続する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 申請事業者からアンケートをとり、企業ニーズに沿った制度とする。</p>
